

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	ふじのくに地域探究コース（静岡と世界を繋ぐ マイプロジェクトコース）			訪問国	フィンランド （ヘルシンキ・エス ポー）	
学校名	静岡県立浜松西高等学校	氏名	吉田恋菜		学年	2 年

テーマ

なぜ浜松市とフィンランドは幸福度が高いのに浜松市は貧困率も高いのか

留学概要

活動期間：2024/08/13-2024/09/15

場所：フィンランド（ヘルシンキ・エスポー）

活動内容：ヘルシンキの中学校 1 校・エスポーの小学校 2 校・中学校 1 校・高校 1 校でアシスタントティーチャーとして活動

～事前にした活動～



浜松市の子供の貧困について知るために、毎週水曜日に行われている子ども食堂のボランティアに参加

→活動していく中で孤立してしまうと貧困に陥りやすいことを知った。子供の居場所づくりや大人でも悩みを話しやすい場所を作ることが貧困を変える一歩だと知ることができた！



浜松市内の小学校 2 校の生徒合計 100 人にアンケートを行った。アンケート結果から、幸福度と貧困の関係よりもフィンランドと日本の文化や教育の違いが大きく、想像していた結果とは違う結果が出た

～留学中にしたこと～



フィンランドの小学校 2 校、中学校 2 校、高校 1 校でアシスタントティーチャーとして活動をし、日本の授業や先生の手伝いをしたり生徒と一緒に授業を受けたりした。また、幸福度に関するアンケートを英語のものとフィンランド語のものを用意して全ての学校で行った。フィンランドの子どもたちと実際に教育現場で過ごす中で、語学力の凄さとたくさんのことに挑戦する環境が好奇心に繋がって幸福度が向上するのではないか、と考えた。



～アンバサダー活動～



静岡の名産品である「ウス茶糖」を企業に100本協賛していただき、フィンランドの子どもたちに配った。ホストファミリーや友達にお弁当を作ったり、ちらし寿司を作ったりした。ホストシスターに日本のお餅を食べたいと言われて、日本から持ってきていたお米でお団子を作った。



～エバンジェリスト活動～



留学から得た体験や探究活動を講演会を通して広めたり、子ども食堂の活動を継続したりしている。

また、留学を通して挑戦できる環境づくりが幸福度に繋がるのだと知り、学生団体「Fuji's teens」を立ち上げて代表となった。静岡のトビタテ生約50人が参加していて、STCというイベントに出展したり私たち主催のイベントを開催したりしている。

